

サイエンスコミュニケーションへの一つの挑戦

～大規模公開オンライン講座を例に～

2015年10月5日（月） 12:00 ぐらい-13:00 ぐらい

ゲスト 中内 彩香 氏（京都大学 iPS 細胞研究所 国際広報室）

みなさん、こんにちは。京都大学 iPS 細胞研究所国際広報室・サイエンスコミュニケーターの中内彩香と申します。科学を色々な形で共有する、というのがサイエンスコミュニケーションの醍醐味と日々思っていますが、一つ一つの活動にはそれぞれ特徴があり、また、「双方向のやりとり」と「多くの人へのアプローチ」というのは相反することがしばしばあります。そこで私たち iPS 細胞研究所国際広報室は昨年度、サイエンスコミュニケーション活動の一つの挑戦として、MOOC（大規模公開オンライン講座）プラットフォームの gacco にて講座を展開しました。その取り組みをご紹介します。皆さんと一緒に様々なサイエンスコミュニケーション活動のあり方を考えていきたいと思えます。（ゲストより）

会場 京都大学 吉田泉殿

- * 京町家風の建物です。
- * 普通の家のように見えるので、通り過ぎないようにご注意ください。
- * 入り口に「京都大学吉田泉殿」という看板がかかっています。

持ち物 ランチ

スケジュール

- 12:00 開場
- 12:00-12:15 ゆるゆる集まる&互いに自己紹介
- 12:15-12:20 中内さんの話題提供（5分程度）
- 12:20-12:45 ゆるゆる質疑応答&互いに議論
- 12:45-13:00 ゆるゆる解散



主催 科学コミュニケーション研究会 関西支部有志（加納 圭、水町 衣里）